

# スポーツ文化ツーリズムアワード2020

## 【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞



(申請団体)

おわせ海・山ツデーウォーク実行委員会・尾鷲市

### 熊野古道伊勢路と尾鷲市の歴史文化を守り活用する 「おわせ海・山ツデーウォーク」



#### 取組概要

聖地をつなぐ祈りの道「熊野古道伊勢路」は、2004年に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録をうけ、これを契機として、同年第1回大会を開催。次回で17回目。全国各地からウォーカーが集まり、海と山とにはぐかれた尾鷲市の、歴史の道を歩む。実行委員会による定期的なコース整備、保全活動により熊野古道のレガシーを後世に伝える役割も担う。スポーツイベントにとどまらない、歴史・文化・観光が融合したウォーキング大会。



#### 評価ポイント

- 地域の自然を活かしている。
- ウォーキング協会との連携や、スポーツ振興への寄与、文化の活用、経済効果、将来性など、実績・総合力で最高評価。
- 地域との繋がり、結びつき等含めて非常にバランスの良いイベント。

# スポーツ文化ツーリズムアワード2020

## 【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞



(申請団体)

富士山ネイチャーツアーズ

## 富士下山

～富士山の知られざる魅力に出会う自然旅行～



### 取組概要

「富士山の魅力は五合目より下にその七割がある」というツアーコンセプトを基に、富士山を下って楽しむオリジナルエコツアー。五合目まで車で登ることが出来る富士山ならではの地域性を持ち、代謝による体力消耗が少ないことから、体力の強弱、老若男女問わず、疲れることなく五合目より下に広がる豊かな自然や、旧登山道にひっそりと残された富士登山信仰の歴史文化の史跡をゆっくりと楽しみ、学ぶことが可能。

富士山に新たな観光様式を取り入れるとともに、自然、歴史文化の保全と健康増進に寄与する持続可能な新たなツーリズム。

### 評価ポイント

- ウォーキングだが地域らしさを活かしている。
- 山を下りながら自然遺産としての富士山を楽しむというところがユニーク。



# スポーツ文化ツーリズムアワード2020 【スポーツツーリズム賞】入賞



(申請団体)

有限会社エクストレモ

## あるがままの自然を活用したアウトドアスポーツ “アドベンチャーレース”を全国で展開



### 取組概要

アドベンチャーレースは、3~4名が1チームとなり、様々なアウトドアアクティビティ（トレイルランニング、トレッキング、マウンテンバイク、カヤック、オリエンテーリング）を駆使しながら、チームで協力してゴールを目指していくレース。アウトドアスポーツの愛好者を始め、親子や初心者向けのレースまで幅広く開催しており、多くの人にその地域の自然や人との触れ合いを体感してもらうこと、アウトドアスポーツの裾野を広げることが目標に、地域交流や地域活性に貢献していくことを目的として展開している。

### 評価ポイント

- 参加者の幅が広く、地域との連携、自然の活用など総合点が高い。
- インバウンドが復興した際には、大きく注目されるジャンル。地域との連携や、単発で終わらない運営を評価。
- 独創性や、地域との繋がりがあり、今まで活用されていなかった中山間地域を含めた中小地域を活用できる将来性を評価。



# スポーツ文化ツーリズムアワード2020 【スポーツツーリズム賞】入賞



(申請団体)

FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters 実行委員会

## FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019の開催



### 取組概要

FIBA（国際バスケットボール連盟）主催の3人制バスケットボール「3x3」のクラブチーム世界一決定戦「FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019」を開催。  
宇都宮市のシンボルで、9mを超える宇都宮二荒山神社の大鳥居前・バンバ市民広場に特設コートを設置し、大会を開催。  
宇都宮を代表するイベントである「宇都宮餃子祭り」、「宮の市」、「MIYA JAZZ IN」を同時開催し、宇都宮の魅力を発信。  
オープニングセレモニーや試合の合間には、宇都宮伝統の宮壺會神輿や居合道のパフォーマンスを実施。



### 評価ポイント

- 独自性、オリジナリティ、地域らしさの観点を評価。
- 従来のコートにとらわれない海外からも注目される舞台設定や、地元のお祭りとの連携など、集客装置としての可能性を評価。
- 国際性があり地域と結びついた取組である。将来性を評価。

# スポーツ文化ツーリズムアワード2020 【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)

一般社団法人北前船交流拡大機構

## 日本遺産北前船を通じた各地の文化資源活用と観光振興 ～ 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～



### 取組概要

全国各地で、寄港地の連携、文化資源の磨上げ、国内外の旅行者の増加と地域への経済効果波及、地域の活性化を目指す観光フォーラムとして、「北前船寄港地フォーラム」を平成19年より実施。本年度で29回目の開催。地元への経済効果に加え、観光資源の掘り起こしと再認識に寄与。

日本遺産構成48市町や日本財団等と協力して、ブランディング、情報発信、経済効果、地域活性化に係る取組を展開。

大手旅行会社協力のもと、日本遺産北前船を巡るツアーを設定・販売している。

### 評価ポイント

- 沢山の地域と連携し、一つ一つを大きなイベントに仕立てている点を評価。
- 長年の取組であり、北前船自体の歴史の連続性や北前船によってもたらされた食文化や生活文化がもっと認識されるべき。



# スポーツ文化ツーリズムアワード2020 【文化ツーリズム賞】入賞



(申請団体)  
松山市

## 重要文化財の保存修理工事を観光資源化 「道後温泉本館×火の鳥 道後REBORNプロジェクト」



### 取組概要

明治27年改築の道後温泉本館は、125年を超えた今も世界中の人々を魅了する松山市の宝。重要文化財の公衆浴場を営業しながらの保存修理工事は、日本初の取組。未曾有の大災害に備えた工事を乗り越えるため、手塚治虫の「火の鳥」とコラボレーション。文化財工事を「再生への過程」と捉えて物語化し、日本が世界に誇るアニメ文化で情報発信。工事・営業エリアを分けて、入浴でき、工事用仮設物を「ラッピングアート」として新たなまちのシンボルに仕立て、文化財工事を「再生の物語」として新たな観光資源に転換。

### 評価ポイント

- アイデアが斬新。ピンチをチャンスに変えるという言葉が今のこのタイミングにふさわしいのでは。
- バックヤードツアーのモデルになるのでは。新しいアニメとの組み合わせが面白い。
- 修復自体を企画に変えるというコンセプトが良い。限定感が出る。